

駅前活性化 検討会議 資料

第11回

あいりん地域まちづくり会議

あいりん地域のまちづくり 第6回駅前活性化検討会議議事要旨

1 日時 令和元年8月26日（月）午後4時00分から午後6時00分

2 場所 西成区役所 4-1会議室

3 出席者

（有識者）

阪南大学教授 松村嘉久、近畿大学准教授 寺川政司、

桃山学院大学准教授 白波瀬達也

（オブザーバー）

大阪市立大学教授 水内俊雄

（大阪市）

川上 西成区役所地域支援担当課長、三代 西成区役所総合企画担当課長

（地域メンバー）

松本 萩之茶屋連合振興町会長第8町会長、福永 萩之茶屋連合振興町会女性部長

山田 大阪府簡易宿所生活衛生同業組合理事長、村井 西成区商店会連盟会長

4 議題

（1）前回までの議論の振り返りと現状について

（2）あいりん総合センター跡地等の利用方法について

（3）その他

5 議事要旨

（1）最近の新今宮駅周辺の状況確認。9月7日に開催予定のまちづくり会議ワークショップに向け、部会としての意見をまとめることについて提案。

「Shin-Imamiya R Project」の第2回フォーラムの開催及び「提案型地域ストック再生モデル補助事業」について説明。

（2）意見等の概要

・あいりん総合センター跡地の活用について、駅前検討会議としては、北側を自由に使いたいと考えているが、労働施設検討部会の意見を尊重したい。

・跡地の北側に労働施設を設置する場合は、南側部分の活用もできるよう、南海・JR等、民間とのつながりを重視してもらいたい。

・JR東口に旅行客が行きたいと思う場所があるが、西口も今後、状況的に何かがおこるポテンシャルは十分あると考えられる。

・「Shin-Imamiya R Project」について、これまで参加のなかった若い層が参画し、新今宮フェスティバルに向け、他の動きも同調してきている。

・「提案型地域ストック再生モデル補助事業」について、4階建てまでなら建築確認を不要にするなど条件の緩和がなければ申請がないのではないかと。

(3) 今後の対応

まちづくり会議ワークショップでの意見を踏まえ、新今宮駅前の活用方法についての議論、検討を継続する。

6 会議資料

(1) 第5回駅前活性化検討会議 議事要旨

(2) 「Shin-Imamiya R Project」について

(3) 「提案型地域ストック再生モデル補助事業」について

(4) インバウンド観光客等の増加が見込まれる主要な事業や新今宮駅周辺の予定

(5) 西成特区構想の推進に向けた調査について

あいりん地域まちづくり会議にかかる第7回「駅前活性化検討会議」及び西成特区構想エリアマネジメント協議会第6回「地域活性化交流・観光専門部会」、「まちづくりハウジング専門部会」議事要旨

1 日時 令和元年12月16日（月）午前10時00分から午後12時00分

2 場所 西成区安心安全活動拠点「あいステーション」

3 出席者

（有識者）

阪南大学教授 松村嘉久、近畿大学准教授 寺川政司、

（オブザーバー）

大阪市立大学教授 水内俊雄

（大阪市）

梅原経済戦略局観光部観光施策担当課長、川上 西成区役所地域支援担当課長
樽野都市計画局開発調整部地域開発担当課長、三代 西成区役所総合企画担当課長

（地域メンバー）

松本 萩之茶屋連合振興町会長第8町会長、大倉 萩之茶屋 第3町会長

福永 萩之茶屋連合振興町会女性部長、

山田 大阪府簡易宿所生活衛生同業組合理事長、村井 西成区商店会連盟会長

上田 NPO法人こえとことばとこころの部屋（ココルーム）代表

4 議題

（1）前回までの議論の振り返りと現状について

（2）あいりん総合センター跡地等の利用方法等について

（3）その他

5 議事要旨

（1）2045年までの人口推計について

（2）ワークショップで提案された意見の整理等

（3）意見等の概要

・にぎわいについては跡地の北側を基本に検討を行う。労働施設を北側に建設するのであれば、その理由について合議を行うことが必要。

・跡地を暫定的に広場として運用しながら、労働者の方が過ごしやすく、再チャレンジできるように、広場での事業から福利厚生や地域のほうへお金が回るような仕組みを提案したい。

・極力オープンスペースにしておいて、事例を示しながら共有していきたい。

・跡地の運用や運営の手法については、跡地にどのような機能が必要であるかがある程度決まってからの検討になる。

・跡地を企業に売却し、施設が建ってしまうと何もできなくなるため、小さな雇用をたくさん作り、流動的に雇用を生み出せるようにしたい。

・新今宮駅は電車が多く停まる駅であるため、ターゲットを定めれば屋台村なども、必ず人が集まると考えられる。

・市民館的な建物が建った場合、にぎわいは、屋根がある部分を交流の場として使わせてもらい福利施設利用者がにぎわい部分を利用するなど、相互の利用が考えられる。

6 会議資料

(1) 第6回駅前活性化検討会議 議事要旨

(2) あいりん総合センター跡地等にかかる利用検討 地域意見整理表 (案)

あいりん地域まちづくり会議にかかる第8回「駅前活性化検討会議」及び
西成特区構想エリアマネジメント協議会第7回「地域活性化交流・観光専門部会」、
「まちづくりハウジング専門部会」議事要旨（案）

1 日時 令和2年1月28日（火）16時30分から18時45分

2 場所 西成区役所 会議室

3 出席者

（有識者）

阪南大学教授 松村嘉久、近畿大学准教授 寺川政司、
大阪市立大学教授 水内俊雄

（オブザーバー）

釜ヶ崎のまち再生フォーラム事務局長 ありむら潜、
桃山学院大学准教授 白波瀬達也

（大阪市）

川上 西成区役所地域支援担当課長、
樽野 都市計画局開発調整部地域開発担当課長
三代 西成区役所総合企画担当課長

（地域メンバー）

大倉 萩之茶屋 第3町会長、福永 萩之茶屋連合振興町会女性部長、
村井 西成区商店会連盟会長、西口 大阪国際ゲストハウス地域創出委員会委員長
上田 NPO法人こえとことばとこころの部屋（ココルーム）代表、
杉浦 大阪府簡易宿所生活衛生同業組合事務局長、

4 議題

- （1）前回までの議論の振り返りと現状について
- （2）あいりん総合センター跡地等の利用方法等について
- （3）その他

5 議事要旨

- （1）あいりん地域と寿町、山谷の人口推計等について
 - （2）あいりん総合センター跡地等利用方法等について具体例を挙げながらの議論
 - （3）意見等の概要
- ・地の利を活かした観光客が多く来ている中、地域と一緒ににぎわいを作れるように

したい。

- ・あいらん地域との親和性を確保しながら、地域にもにぎわいを生み、当然地域住民の方も利用できるものが必要。
- ・今の時点では具体的な機能ではなく、みんなが安心して使えると思えるコンセプトを検討することが必要。
- ・電気、水道、排水、共同で使える調理場のようなものがあれば、例えば屋台のイベントや防災時の炊き出しなどにも利用できるのではないか。
- ・意見としている様々な機能を盛り込むにはある程度の広さが必要と考えられる。
- ・近隣は単身者が住むような住宅が多く、住宅を整備することも考えていきたい。等

ワークショップに向けた部会としての意見（案）

- ・ある程度の広さを持った、多様な人が集うオープンスペースを確保したい。
- ・電気、水道、排水、共同で使える調理場などのインフラを整備しておきたい。
- ・防災設備機能を備えた場所にしたい。
- ・小さい雇用や外から人を呼び込める使い方をしたい。
- ・地域住民、駅利用者、滞在者など、色々な人が利用できる場所にしたい。

6 会議資料

- (1) 第8回「駅前活性化検討会議」及び第7回「地域活性化交流・観光専門部会」、「まちづくりハウジング専門部会」議事要旨
- (2) あいらん総合センター跡地等にかかる利用検討 地域意見整理表（案）